

# 海洋生物シンポジウム 2021

主催：日本海洋学会海洋生物学研究会

日時：2021年3月20日（土） 9時～

オンライン開催（Zoom 使用）

## プログラム

海洋生物学研究会会長挨拶 田所 和明  
日本海洋学会会長挨拶 神田 穰太  
基調講演 坂本 達也 海域横断マイワシ研究

### 一般講演

#### 発表者

#### 演題

座長 平井 惇也

9:45 高山 佳樹 浮遊性カイアシ類 *Acartia steueri* の培養餌料の検討

10:00 山崎 泰誠 絨毛虫 *Euplotes vannus* がかいあし類 *Oithona oculata* の卵生産に与える影響

10:15 由井 智啓 西部北太平洋～東部南太平洋表層における窒素固定者 4 種の海盆スケール分布

座長 高山 佳樹

10:30 橋本 啓吾 東京湾における *Skeletonema* 属のシードバンクの検討

10:45 片野 俊也 東京湾奥部における珪藻 *Skeletonema* 属の細胞密度と種組成の季節変化

11:00 江 思宇 Temporary phytoplankton blooms in oligotrophic subtropical and tropical oceans

11:15 矢野 光一 Variability of Phytoplankton Functional Types (PFTs) in the Temperate Coastal Waters of Sagami Bay, Japan

### 昼休憩

座長 片野 俊也

13:00 大南 あかり 親潮域ブルーム進行に伴う大型カイアシ類 4 種のニッチ分割

13:15 寺岡 拓末 噴火湾における動物プランクトン群集の分類群組成およびサイズ組成の季節変化

13:30 加納 大地 北海道オホーツク海沿岸域のカイアシ類微細分布 とくに冷水帯の *Pseudocalanus newmani* に着目して

13:45 松野 孝平 2017年と2018年夏季の北部ベーリング海における動物プランクトン群集と大型カイアシ類個体群の年変化

座長 仲村 康秀

14:00 由井 智啓 なぜ *Trichodesmium* spp. は群体を形成するのか? : VPR による鉛直分布観察結果から考える適応的意義

14:15 有水 聡志 駿河湾の小型遊泳性軟甲綱のアスタキサンチンの *cis-trans* 異性体

14:30 小澤 祐斗 駿河湾産軟甲綱におけるアスタキサンチンの鏡像異性体分析

14:45 林 靖人 プランクトン由来凝集体の粒子間接着力の測定と粒子サイズ変動への影響

休憩

座長 松野 孝平

15:30 米田 壮汰 デトリタス食性カラヌス目カイアシ類の感覚機能多様性

15:45 山口 篤 西部北極海における同所的な中層性肉食性カイアシ類 2 種の生活史の比較: 中層性 *r*-戦略種の存在と特殊な摂餌様式

16:00 中江 美里 日本海佐渡沖におけるカイアシ類ノープリウス幼生の個体群動態

16:15 仲村 康秀 放散虫類・フェオダリア類 (単細胞動物プランクトン) の多様性と生態: 新知見と課題

閉会式 海洋生物学研究会会長挨拶 学生優秀発表賞表彰